

会議録

会 議 の 名 称	第2回あま市子ども読書活動推進計画策定委員会
開 催 日 時	令和5年8月24日（木）午後1時30分から
開 催 場 所	あま市役所 2階 E会議室
内 容	<p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1)計画策定にあたっての研究項目・課題等について</p> <p>(2)子どもの読書活動に関するアンケート調査について</p> <p>(3)その他</p> <p>3 その他</p>
資 料	<p>資料1 あま市における子ども読書活動の推進に関する取組状況</p> <p>資料2 あま市子ども読書活動推進計画アンケート調査</p> <p>資料3 あま市子ども読書活動調査</p>
出 席 委 員	三輪昭子委員長、山口陽子副委員長、内藤美千代委員、飯田奈々委員、糸野克好委員、鎌倉崇志委員、吉川史高委員、佐藤尚委員（代理）、林一史委員、寺澤直樹委員
欠 席 委 員	なし
事 務 局	<p>（教育委員会）</p> <p>伊藤克仁教育長</p> <p>（教育部生涯学習課）</p> <p>内山伸也課長、近藤博主幹、濱嶋直樹主幹、増田百華主任、上村希美香主事</p>

委員会の経過

1 委員長あいさつ

2 協議事項

(1) 計画策定にあたっての研究項目・課題等について
生涯学習課より説明

<質疑応答>

(委員) 学校図書館は基本目標のどの項目に含まれるのか。

(教育長) 基本目標 1 に含まれている。

(2) 子どもの読書活動に関するアンケート調査について
生涯学習課より説明

<質疑応答>

資料 2 について

(委員) ブックスタートに関するアンケートの実施対象は。

(事務局) 3 歳児保護者を対象に実施する。

(委員) 3 歳児保護者アンケートの質問で地区を聞く理由は。現在は 3 歳児健診を地区別で行っていないため、転入してきた方など自分がどの地区に該当するかわからない方もいるのではないかと。

(事務局) 第二次でも地区を聞いており、結果を比較したいため質問を設けた。質問を残すかも含め、検討する。

→「その他」の選択肢を設け、質問文に括弧書きで追記する。

(委員) 3 歳児保護者アンケートの質問文にある「あなたは」は保護者のことか。

(事務局) 保護者のことである。

(委員) 「あなたは本を読みますか」という質問があるが、子どもの読書を推進するにあたって、保護者が本を読むことが直接的に関係してくると思えない。また、忙しくて自分のために本を読むことができない方や、子どもに読み聞かせをする方も多いのではないかと。質問文を読んで、読まないことがダメなのかと感じる保護者もいると思う。

(事務局) 第二次との状況を比較するため、また家庭内で読書をする人がいることで子どもの読書に影響を与えるか調査するため質問を設けた。

(委員長) 保護者が定期的に読書をしており、その子どもが保護者の真似をして机に座って本を読んでいるという事例を聞いたことがある。そのようにして読書習慣が身についていく場合もあるのではないかと。質問を残したうえで、文言を再度検討してはどうか。

(事務局) 検討する。

→問 2 で読まない選択肢を選んだ場合問 3 で理由を聞いており、その中に「忙

しくて読む時間がない」選択肢があるため、また問7で子どもに読み聞かせを行っているかという質問をするため、文言は変更しない。

(委員長) 本を読まない理由の選択肢として「インターネット・ゲームの方がおもしろい」とあるが、「動画の方がおもしろい」という選択肢も加えてはどうか。

(事務局) 検討する。

→「インターネット・動画の方がおもしろい」及び「ゲームの方がおもしろい」と選択肢を変更する。

資料3について

(教育長) 小中学校用の調査の実施方法について、調査は紙で配布するのか。

(事務局) 紙で配布する予定です。

(教育長) データによる回答とすることで、集計がやりやすくなるのであればデータで配布しても良いのではないか。

(事務局) 検討する。

→調査は紙で実施する。

(委員) 小・中・高校用の調査問4(3)貸出条件は、通常時と長期休業中では条件が異なる学校が多いと思われる。それぞれの条件が記載できるようにしてはどうか。

(事務局) 表記を変更する。

→例文及び回答記載場所の表記を変更する。

(委員) 問7 選択肢①図書支援員・学校司書とあるが、図書支援員と学校司書は同義である。「・(中点)」では図書支援員と学校司書の2種類あるのかと思う方もいるのではないか。

(事務局) 同義であることがわかるよう表記を変更する。

→「図書支援員(学校司書)」と変更する。

(委員) 問7(2)ブックトーク及び(3)学校図書館利用のオリエンテーションの選択肢③PTAについて、PTAで行っている学校はあまりないのではないか。また、選択肢に「公共図書館員」を追加してはどうか。選択肢について再考していただきたい。

中・高校用調査問6でブックトークを実施していると答えた場合にどのように実施しているか詳細を聞く質問がないため、追加してはどうか。

(事務局) 選択肢及びブックトークに関する質問について検討する。

→選択肢③「PTA」を削除し、選択肢②「美和図書館員」を追加する。また、ブックトークの実施方法等について聞く質問を追加する。

(委員) 問15 学校の授業の中で学校図書館を利用することが「ない」と答えた場合、理由を記載してもらおうようにしてはどうか。

(事務局) 検討する。

→利用することがない理由を記載してもらおうよう表記を変更する。

(委員) 本調査は、法律があつて実際に子どもの読書について調査する目的で行うものか。また、計画としては最終的にどのような方向性にもっていくのか。本を読みましようといった方向付けをしていくのか。

(事務局) 計画の策定について、法律で「策定に努めなければならない」とされており、その計画策定にあたり参考資料とするために本調査を行う。計画の方向性については、調査結果を踏まえどのように読書を推進していくか、委員の皆様にご意見を伺いながら進めていく。

(委員) 調査結果は参考資料として巻末に掲載するのか。

(事務局) 参考資料として計画の巻末に掲載する。

(委員) 小学校用調査問5について、貸出手続きをして配架している場合と、除籍廃棄となった本を配架している場合がある。貸出手続きをした本について聞いているのであれば、表記を変更したほうが良いのでは。

(事務局) 学級に本を配架しているか調査するために問5を追加している。表記について再度検討する。

→貸出手続きをして配架しているかどうかと参考になるとの意見があったため、「(除籍・廃棄したものを除く)」の文言を追加する。

(委員) 小学校用調査問8について、「読みきかせ・おはなし会またはブックトークと回答した場合」とあるが、(5) 時間帯はそれぞれ別の時間に行うことが多いと思われる。それぞれの状況を回答できるようにした方が良いのではないか。

(事務局) 表記について検討する。

→「読みきかせ・おはなし会」及び「ブックトーク」の実施状況を分けて回答できるよう変更する。

(3) その他

生涯学習課より説明

<質疑応答>

(委員長) 計画の理念については、いつ頃検討するのか。

(事務局) 第3回の策定委員会にて検討する。

3 その他

・第3回策定委員会 12月を予定

